

議会報告会の開催に関する調査結果

これまでの開催方法をベースに実施する		共産党		
時期		これまでと同様でよい		
場所		第一庁舎 一階 交流広場		
開催方法	報告は議会報をもとに簡潔に行い、市民からの意見聴取の割合を大きくする。開催場所を2～4箇所とし、議員が分担して同時開催する。	女性や若い世代の参加が回を重ねるごとに減っている。議会への関心を高めるためには総合計画の市民意見聴取のように、参加しやすいカフェ形式などを一部採用して議会と市民の交流を進めることも必要ではないか。質疑の時間が短いと感じる参加者がいることや議会報告会を経て行政に反映されたのかフィードバックを求める声もある。また報告会に目的意識を持って参加する市民も多いことを考慮して、市議会概要と委員会報告は全体で行い、質疑は常任委員会毎に各テーブルに分けて行うことで意見聴取の時間を長くするなどの工夫が必要ではないか。議会報告会を充実させていけば、地域ごとまた、委員会所管ごとの深い議論を議会報告会に求められるのを前提に、報告会の開催方法を変えていくべき。		
これまでの開催方法をベースに実施しない		新友会	改革ネット	公明党
名称	市民意見聴取会			おでかけ市議会
時期	6月定例会閉会后～9月定例会開催前	7月の土・日午後（5月は常任委の視察があるため）		秋くらい
場所	市役所講堂	若里市民文化ホール会議室（場所も変えてみる）		市立長野高校
開催方法	各住民自治協議会役員等、住民自治協議会から選出された者と全議員	議会報告から意見聴取・意見交換にシフト。3月・6議会を踏まえ、特徴的な議決状況を簡潔に報告するとともに、予め決めたテーマを中心とした意見交換会に重点を置く方法が考えられないか。例えば四特別委の調査事項をテーマにした意見交換会。住自協役員に広く周知し参加体制の協力を得るとともに、市民にも積極的に呼びかける。		市立長野高校2年生を対象に意見聴取会を実施。テーマを委員会ごとに設定する(未来カフェ方式)。委員会ごとに聴取する。2時間ぐらい。